

富洲原中だより

富洲原中学校通信 No.27



令和7年12月5日

いのちの奇跡と軌跡

10月20日（月）6限目、PTA 家庭教育講座として、助産師の矢野ゆきこ先生をお迎えしました。矢野先生は助産師として多くのお母さんと赤ちゃんの誕生に関わってこられました。現在は助産所を営みながら、地域の子育て支援や「いのちの授業」などにも積極的に取り組まれています。

この日の講演では、「いのちの誕生の神秘」から、思春期の心や体の変化、そして自分の体といのちを大切にすることについてお話いただきました。



みなさんが書いた振り返りシートをじっくり読ませてもらいました。共有したいと思ったので、紹介します。

1 「性」「生命」に関連してわかったことや大切だと思ったこと

- ・人とお付き合いをしていく中で、「YES/NO」をしっかりと伝えること。
- ・自分が好きだなと思った人でも、何となくで行動するのはいけないことだと知ることができました。
- ・中でも印象に残ったのは「避妊」についてで、初めて知る情報も多く、改めて助産師さんのお話を今回聞くことができて良かったなと思いました。

2 学んだことをあなたの生活の中でどのように活かしますか

- ・まだ中学生ということもあり、ネットの情報をう呑みすることも多々あると思いますが、専門家のしっかりとした情報を聞けて、絶対に忘れないようにしたいと思いました。
- ・助産師さんは、赤ちゃんを産む時の手助けをするだけだと思っていたので、今日の話聞いて、家に行き、赤ちゃんが元気なのかを確認するなどの仕事もあることが分かった。
- ・もし好きな人ができたとしても、さわりたかったりしても、そういう欲をおさえて行動をとったりしようと思います。
- ・もし今後、大切なパートナーができたなら、お互いの意見を尊重して、お互いの良いと思う行動をしていきたい。
- ・たたいたり、なぐったりすることだけが暴力じゃないと分かったから、絶対にしないようにしようと思った。
- ・寝ている時に射精をしてしまったとしても、ビビらずに適切に処理していきたいと思いました。
- ・自分たちは勝者なのだ、、みんな生まれたとき、命ができたとき、自分たちは競争で勝っている。1位なのだということを胸にがんばっていきます。
- ・命の大切さで「死ね」とか言う人に、命は大切やからそうやってすぐ「死ね」って言ったらあかんって伝える。

3 講話の内容について家族とどのような話をしようと思いますか

- ・「自分は女の子だけど、まだ知らないことがたくさんあったよ」「たくさん学ぶことができたよ」ってことを伝え、今まで育ててくれたことに感謝を持って生活していきたいと思います。
- ・昔のビデオを見て、この時どんな思いだったのかや、おなかにいる間はどんな様子だったのかを聞いたりしていたので、改めて「性や生命」についても話したいなと思いました。
- ・考えていること（男女の差など）があるかもしれないから、そこはきちんと、世の中の考え方の変化や、内容として私が大切だと思った点を家族にもしっかりつなげられたらと思う。
- ・話をするのは難しいかもしれませんが、「性」の方ではなく「生命」について話し合いたいです。
- ・話さないといけないの？

The translated version of this Tomisuhara Junior High School newsletter is available on the school website. Please access it via the QR code.

